

情報連絡員報告・1月分

非製造業の売上高DI値、大幅に悪化

< 東京都中央会 >

1月の情報連絡員報告によると、製造業・非製造業ともに売上高、収益状況、業界の景況DI（前年同月比）値が悪化した。特に非製造業の売上高は約20ポイント悪化した。業界の声からは「気温が高めの日がつづき、アウターを中心に売上が大きく落ち込んだ」、「暖冬により、販売不振」、「暖冬の影響で、防寒関係の帽子はダメージを受けた」、「暖房器具の売上が不振」等、暖冬の影響が報告された。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計

業界の声

特記事項欄より

「繊維・同製品」

- ・昨年とは正反対の記録的な暖冬の影響で、防寒関係の帽子はダメージを受け、業界の元気がない。（帽子製造業）

「化学・ゴム」

- ・原料高は一段落したが、得意先への値上げ交渉も困難となった。これまでのコストアップを吸収できない状況にある。（ゴム製品製造業）

「鉄鋼・金属」

- ・円安に伴う輸出の好調な自動車関連及び工作機械等に支えられ、売上を伸ばしているが、原材料価格の上昇が利益を圧迫し、増収減益の状況にある。（ねじ類製造業）

「卸売業」

- ・暖冬により販売不振で低調。

（食肉卸売業）

- ・期待された正月商戦は一部定番商品の健闘はあったものの、総じてふるわず苦戦をしいられた。このような状況で2月の閑散期を迎えることとなり、困窮はさらに深まりそうだ。（玩具卸売業）
- ・盆・暮れが閑散期に変わるなど理容業の低迷に拍車がかかっている。また、美容業界も操業度が低下傾向にあり、理容・美容の境界のないヘアサロンが増えてきている。（理容品卸売業）

「小売業」

- ・1月は営業日数が少なく、新年会等で外食の機会が多いので、町の豆腐店では売上が伸びていない。大手の量産豆

腐メーカーの価格競争は原材料が高騰しても続いている。(豆腐小売業)

- ・ 気温が高めの日が続いたので、初売りを除いてアウターを中心に売上が大きく落ち込んだ。(衣料品小売業)
- ・ 年明け以降、AV商品の売上げ低下が目立ち、単価の下落が顕著。洗濯乾燥機の荷動きのみ底堅さが見られる。一般電気店は売上減少が多く、量販店も格差が生じている。(電気機械器具小売業)
- ・ 1月は営業日数が少なく、果実の品種が少ないので例年はみかんで売上をつくるのだが、不作のため高値で推移し、収益に影響がでた。(野菜・果実小売業)

「商店街」

- ・ パソコンソフト「ピスタ」発売前のため、パソコン本体の売上が苦戦。薄型テレビは台数がでたが、単価ダウンのために利益を圧迫。(秋葉原)

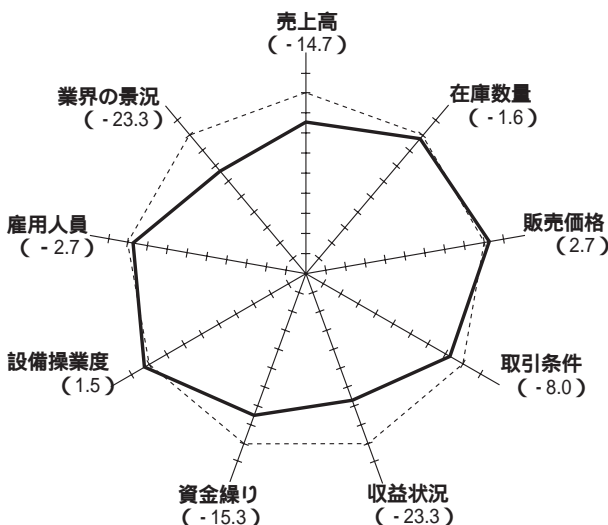
「運送業」

- ・ 荷動きはやや堅調になってきたようだ。相対的に車両台数が不足傾向にあるとの情報もあり、この傾向が確実なものとなり運賃交渉への追い風になればと思う。(貨物自動車運送業)

<要望事項欄より>

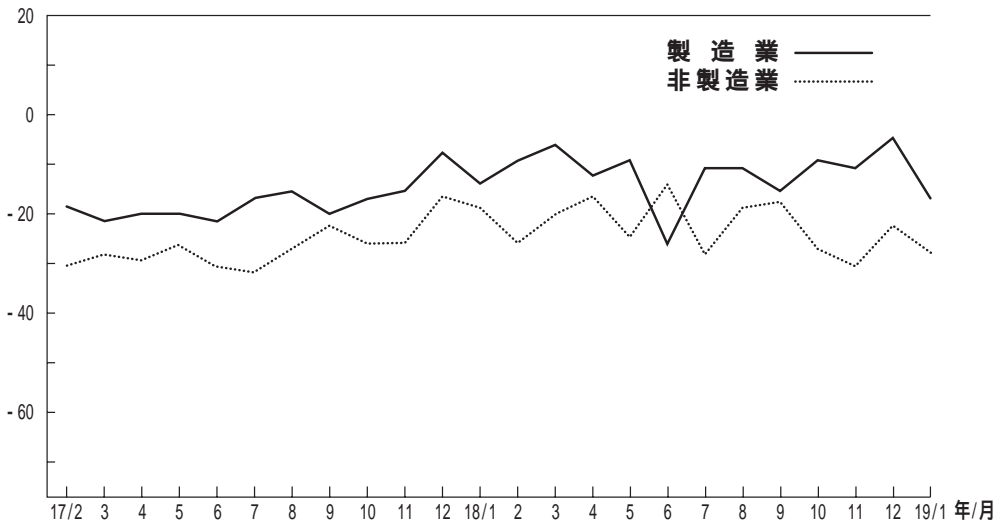
- * 景気対策として、信用保証枠付き融資の特別枠を設けるなど、中小企業を支援してほしい。[二輪自動車小売業]

1月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)

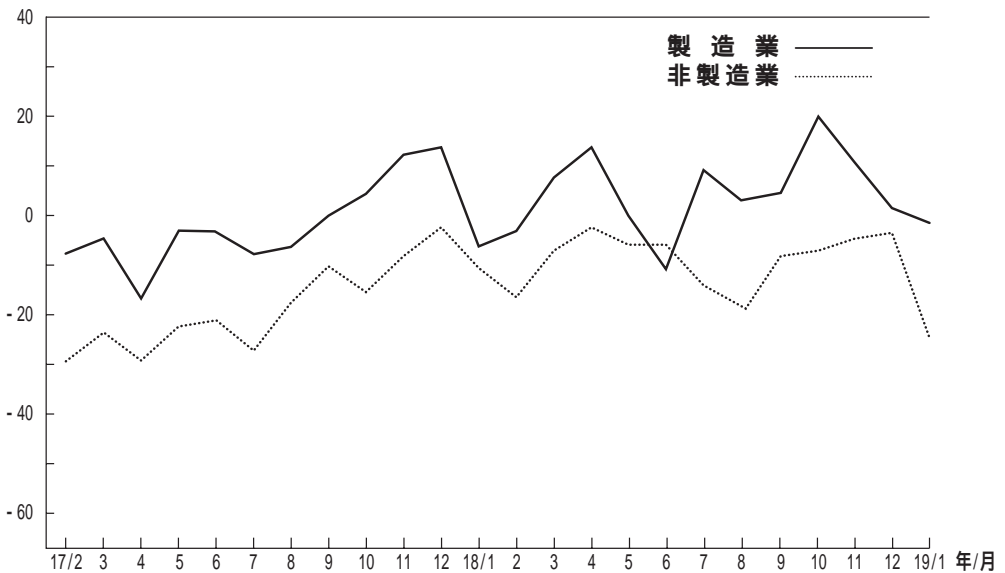


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H17.2～H19.1）
（前年同月比）



売上高DIの変化（H17.2～H19.1）
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。